

【果菜類】

No.	作物名	散布方法	希釈倍率	散布量	散布時期・回数		備考
1	キュウリ	育苗	200倍	3ℓ/㎡	-	2～3回	
		追肥	200倍	200～300ℓ/10a	1回目	開花期	
					2回目以降	上記1回目から1週間隔	
2	トマト	育苗	400倍	3ℓ/㎡	-	2～3回	
		追肥	400倍	200～400ℓ/10a	1回目	第1果が直径2.0～2.5cmになった時	
					2回目以降	上記1回目から10日～14日間隔	
3	ピーマン	育苗	200倍	3ℓ/㎡	-	2～3回	
		追肥	200倍	200～300ℓ/10a	1回目	開花期	
					2回目以降	上記1回目から1週間隔	

注1) 一回あたりの**原液正味投入量を2kg/10a**にするのが理想的。散布量は作業上困難であれば散布設備に合わせて変更。

注2) 上記は標準施用時期及び量であり、生育によってはこの限りでなく、チッ素肥効への偏りがみられる時には、更に追肥する。

注3) 降雨の続く時にもライフインの施用は軟弱徒長を防ぎ、健全な生育に有効である。

注4) 苦土の要求量が上がるため、りん酸吸収効率の上昇効果を含めて腐植酸苦土肥料の施肥を推奨。

<ご注文・お問い合わせ先>

有限会社サンジェットアイ
 岡山県倉敷市玉島八島1987
 TEL 086-523-5420 FAX 086-523-5450
<http://www.sunjet-eye.co.jp>